# 令和6年度 市民活動応援助成金「エール」

# 交付申請書

年 　　月 　　 日

府中市市民活動センター館長

団体名

代表者役職･氏名

所在地 〒

電 話 　　　　　 （　 　　　 ）

|  |  |
| --- | --- |
| 申請コース | □Ａ．事業スタートアップ助成□Ｂ．事業ステップアップ助成※助成金受給実績（同事業で過去に助成金を受給した実績）　□無　　□有　→（　　　）年　助成金名称（　　　　　　　　） |
| 申請事業名 |  |
| 実施期間 |  令和6年4月1日　～ 　　 年 　　 月　　 日 |
| 総事業費 | 円 |
| 対象経費 | 円 |
| 助成金申請額 | 円 |
| 団体設立 | 年　　　月 |
| 連絡担当者 | ふりがな氏 名 |  |
| 住 所 | 〒 |
| 連絡先 | TEL |  | 携帯 |  |
| FAX |  |
| mail | ※携帯メール不可 |

 令和6年度市民活動応援助成金「エール」の交付について、次のとおり関係書類を添えて申請します。

# 事業計画書

申請団体名：

|  |  |
| --- | --- |
| 申請事業名 | ※府中市のため、広く府中市民のためになる公益的な事業が対象です。 |
| 事業の目的 | 【課題・問題意識】（社会状況や市民ニーズを踏まえて数値等を用いて具体的に記入してください。）【目指す姿（ビジョン）】（この事業を行うと、府中がどのようなまちになっていくかを 記入してください。） |
| 事業の対象者 | ※誰に対して行う事業なのか、対象者はどの位いるのかを具体的に記入 |
| 目的を達成するために、実施する事業内容 | ※日時、実施場所、実施方法、参加予定人数、募集方法等について具体的に記入 |
| 連携・協働する団体先等 | ※連携団体・企業・行政等がある（確定）場合に記入【団体名：関係性/協力内容】 |
| ※連携団体・企業・行政等がある（希望・調整中）場合に記入 【団体名：関係性/協力内容】 |
| 工夫・改善点Bコースのみ記入 | ※複数回申請・交付を受けている事業は、前回申請した事業と比較して記入 |
| 事業を行うことで期待できる具体的な成果 | ※実施することで、対象者や市、市民にどのような効果や成果があるかを具体的に記入 |
| 自立化の予定 | ※助成期間終了後、特に資金面でどのように自立していく予定かなどを記入 |
| 実 施 体 制 | ※団体の事務局メンバー、運営体制、外部のボランティアスタッフ等【氏名もしくは団体名と、申請事業における各役割や役職】 |
| 実施スケジュール | 日 程 | 工 程 |
|  |  |

# ロ ジ ッ ク モ デ ル

※「B.事業ステップアップコース」申請団体のみ記入してください

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **インプット****（団体の資源）** | **活動****（提案内容）** | **アウトプット****（活動の結果）** | **短期アウトカム****（事業終了時変化）** | **長期アウトカム****（ビジョン）** |
| 活動の実施に必要な、団体が保有するヒト・モノ・カネ・ノウハウなどの資源 | 今回の提案事業で実施する活動の概要 | 活動によって直接得られる、活動直後の結果（ある程度コントロールが可能） | 活動やアウトプットにより後からやってくる変化・成果（補助事業終了時点） | 短期達成は困難だが、活動が将来的に目指す社会変化。目的・ビジョン。 |
| 例：〇〇資格保有者、研修会場、研究成果 | 例：セミナー開催、イベント開催、プログラム開発、参加者募集 | 例：参加者数、実施回数 | 例：スマホ活用頻度向上、自然好きな人増加、自己肯定感の向上（アンケート） | 例：虐待のない社会、子どもの社会性向上、デジタル格差解消 |
|  |  |  |  |  |

※　書き方にルールはありませんが、公益的な活動を組み立てるために、事業により最終的に達成したい状況（長期アウトカム）から逆算して考えることをおすすめします。

# 事業収支予算書

|  |  |
| --- | --- |
| 申請団体名 |  |
| 申請事業名 |  |

１ 収入の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科 目 | 金 額 | 経費の内容・算出根拠　※金額が入っているところは必ず記入 |
| 事業収入※この事業を行うことで得られる収入 | 円 |  |
| 円 |  |
| 円 |  |
| その他収入※寄付金など | 円 |  |
| 円 |  |
| 団体負担金 | 円 |  |
| 助成金申請額 | 円 | 第１号様式１頁の「助成金申請額」と同額 |
| 収入合計【Ａ】 | 円 | 支出合計【Ｂ】＋【Ｃ】と同額となるよう記入 |

２ 支出の部 ※行は追加して構いません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科 目 | 金 額 | 経費の内容・算出根拠※金額が入っているところは必ず記入 |
| 対象経費 | 謝　礼　金 | 円 |  |
| 旅費交通費 | 円 |  |
| 消 耗 品 費 | 円 |  |
| 印刷製本費 | 円 |  |
| 通信運搬費 | 円 |  |
| 保　険　料 | 円 |  |
| 使用料・賃借料 | 円 |  |
| 設　営　費 | 円 |  |
| 資　料　費 | 円 |  |
| 委　託　費 | 円 |  |
| 人　件　費 | 円 |  |
| 対象経費合計【Ｂ】 | 円 | ※この事業に必要な支出のなかで助成の対象になる支出の合計 |
| 対象外経費 |  | 円 |  |
|  | 円 |  |
|  | 円 |  |
|  | 円 |  |
|  | 円  |  |
| 対象外経費合計【Ｃ】 | 円 | ※この事業に必要な支出のなかで助成の対象にならない支出の合計（ある場合のみ記入） |
| 支 出 合 計【Ｂ】＋【Ｃ】 | 円 | 収入合計【Ａ】と同額となるよう記入 |

# 団体概要書

|  |  |
| --- | --- |
| 申請団体名 |  |
| 設立年月 | 年　　　　　月 |
| 設立目的 |  |
| 事業（活動）内容 |  |
| 主な活動実績 |  |
| 活動分野（該当に複数■印） | □(1)保健･医療･福祉 □(2)社会教育 □(3)まちづくり □(4)観光振興□(5)農山漁村･中山間地域の振興 □(6)学術･文化･芸術･スポーツ□(7)環境保全 □(8)災害救援 □(9)地域安全 □(10)人権擁護･平和□(11)国際協力 □(12)男女共同参画社会の形成 □(13)子どもの健全育成 □(14)情報化社会の発展 □(15)科学技術振興 □(16)経済活動活性化□(17)職業能力開発･雇用機会拡充 □(18)消費者保護□(19)前各号の活動への助言･援助 |
| 上記のうち、主たる活動分野（１つ）　　 番 |
| 団体の活動拠点 |  |
| 過去の助成金獲得実績 | （国、都道府県、市区町村（府中市を含む）、または出資法人、民間からの助成）実施年度：事業名 |

# 団体構成員名簿

## 申請団体名：

【記入上の注意】

1. 団体構成員とは、役員、事務局スタッフ、事業の運営・指導にあたるスタッフ、運営・指導者のもとで実際に事業に携わるスタッフ等と定義します。
2. 「役職名」には、団体の役職名を記入してください。（例：会長、代表、理事長、実行委員長、委員、会員、監査、事務局長、事業責任者･マネージャー、事業運営担当、会計、広報等）
3. 行が足りない場合は適宜追加してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 役職名 | 府中市との関わり（該当を■印） |
| 1 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 2 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 3 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 4 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 5 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 6 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 7 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 8 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 9 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 10 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 11 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 12 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 13 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 14 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 15 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |
| 16 |  |  | □市民　□在勤　□在学　□その他 |